各社が誇る、現場で活躍する社員

総合力基礎に、挑戦を支援

水ｉｎｇＡＭ
アセットマネジメント管理部
オペレーション管理課主任
櫻井　俊輔さん

■社会貢献できる会社

学生時代の専攻は心理学で、就職するまでは「水」とは無縁でした。社会貢献度の高い仕事に就きたいとの思いで水ｉｎｇの前身である「荏原エンジニアリングサービス」に入社しました。

入社後は人事部を5年間、その後、オペレーション部門に特化した人事部門を3年経験し、現在の所属となり、入社から15年目となります。

この間、国内外における上下水道事業の環境変化、そして社内の再編もあり、状況は大きく変化しました。入社間もない頃からこの変化に関われたことが、常に変化を意識して行動するきっかけとなりました。

■仕事は未来へと

当社は全国300カ所以上のオペレーション現場とそこに勤務する約2700人のフィールドエンジニアを有しています。現在の部署では、主に彼らが担うオペレーション事業に関する計数管理を行い、経営情報として報告する仕事をしています。加えて、社内戦略の一環として、各オペレーション現場の情報を集約・共有するシステムの構築も担当しており、当社グループの力を一層高めていくための基盤づくりを進めています。

このような業務対応でもそうですが、私は一つひとつの業務でも狙いを持って取り組むこと、その仕事がつながっている未来を想像すること、そして可能な限り多くの現場のフィールドエンジニアとコミュニケーションを取ることを意識して日々の業務に取り組んでいます。

■強みは総合力

水ｉｎｇグループの強みは総合力だと思います。その一例が危機管理への対応です。入社してからいくつもの大災害、そしてコロナ禍を経験しましたが、人命第一という方針の下、地域の水や環境を守るために、現場を一時も止めない迅速な対応力、そして持続させていく当社グループの力は、まさに総合力を体現していると思います。

そして、300以上のオペレーション現場が地域に密着して築いてきた信頼が総合力の根底にあると思っております。

日本全国に有するネットワークやオペレーション現場の日々の工夫と努力を当社の総合力としてより一層発揮させていくことがこれからの成長の鍵であり、その点ではまだまだ当社グループは成長ポテンシャルに満ち溢れていると思います。

当社グループが持ち合わせる性質を一言で表すと真面目さだと思っています。その中に、社員を大切にする、挑戦を応援してくれる気風があり、そこに私は居心地の良さを感じますし、何よりも胸を張って社会貢献ができる会社で働けていることは大きな誇りです。

水を仕事にする魅力、やりがい

さまざまな顧客ニーズに対応

ＪＦＥアドバンテック
水環境事業部　大阪営業グループ
安本　拓史さん

■ＬＥＤ式ＵＶ計の初採用現場に関わる

私は、2016年に入社して以来、水位計等の計測機器の販売の仕事に携わっています。

これまでで最も印象に残る仕事は、当社の新製品ＵＶ計（有機汚濁測定装置）が採用された第1号の現場に関われたことです。当社では、光源にＬＥＤを採用し、水銀ランプ交換の手間をなくすとともに交換費用も削減した新製品「ＬＥＤ式ＵＶ計」を開発しました。この新製品を兵庫県内にある下水処理場に試供設置させていただき、2年間データを取り続けたところ、第三者機関の分析結果と良い相関関係が得られること、また光源の劣化も無いことが確認できました。この結果を自治体に報告するとともに、自治体の方からもご意見をいただいて社内にフィードバックして製品開発に反映し、販売体制を整えました。2018年に販売を開始したところ、その年のうちに採用していただくことができました。この時は本当にうれしかったです。入社してすぐに重要な仕事に関われたことは貴重な経験になりました。

今は、もう一つの新製品である「面速式超音波流量計」の拡販活動にも取り組んでいます。また、当社の主なお客さまは官公庁がメインですが、民間のお客さまにも当社の計測機器がお役立ちできると思い営業活動に取り組んでいます。

■新たな角度からの発信に期待

当社に入社する前、私は資機材メーカーで5年ほど働いていましたが、営業活動をしている中で、分野によってはメーカーが違っても製品の特徴がそれほど違わないことが拡販する上で悩みのタネになっていました。そうした中で、耐雷性に優れた特徴を持ち、投込圧力式水位計でトップシェアを誇る当社の存在を知りました。上下水道分野のさまざまな施設の中で製品が使われており、特徴ある商品やラインナップも豊富なことから、入社を志望しました。

当社は、会社が目指す方向性が明確に示されている一方で、その中において若手社員であっても権限が与えられ、自らでスケジュールを設定して営業活動を行うことができることが良いところだと思います。

男性社員でも育児休暇を取得しやすいなど、福利厚生が手厚いことも長所だと感じています。

このコロナ禍の中、今の学生は対面の授業がリモートや動画の授業に置き換わってしまうという経験をされていることと思います。今後入社される方には、こうした私たちが経験したことがない体験を基に、新たな角度から新鮮な提案を社内にどんどん発信していただければ、私たちにとっても良い刺激になると期待しています。

ニーズ踏まえ成果を結実

月島機械
横浜支店課長代理
原木　正義さん

■お客さまのニーズを知る

大学では交通機械を専攻し、前職を経て平成18年に営業職として中途入社しました。横浜支店に勤務し16年目ですが、現在は神奈川県内で下水処理を実施している自治体が私のお客さまです。公共事業の発注は入札方式により決定されますが、当社技術が将来の設備計画に反映されるよう、日頃から自治体の担当部局に足を運び、入札時の仕様書の内容に合致するよう提案活動を行い、市場動向や施主となる自治体ニーズを把握した上で、契約に結び付けることが営業の仕事です。お客さまとのコミュニケーションを積み重ねて得た情報を、技術部門へフィードバックし、各自治体のニーズにマッチした形に反映させることが成果に結び付くため、とてもやりがいを感じています。

■環境技術で社会貢献

地球環境問題に関心があり、技術で社会に貢献したいと思ったことが入社動機です。固形燃料化や消化ガス発電など、未利用であった汚泥の下水汚泥資源化技術や、設備の省エネ化による温室効果ガス排出量の抑制など、地球環境保全に資する技術群が当社の強みであり、自分の職務に誇りをもっています。

中でも過給式流動燃焼システムは、圧力下で汚泥を燃焼する画期的な技術で、従来に比べて大幅な省エネを実現しました。現在は全国各地で納入実績がありますが、開発当初は当然ながら、前例となる実績がありません。技術メリットと信頼性をご理解いただくため、実験プラントにお客さまをお連れし、懸命に技術説明をさせていただいたこともありました。同システムの受注として、自らが営業担当として取り組んだ、神奈川県の流域下水道があります。粘り強くＰＲし、受注に結び付いた時には、何事にも代えがたい達成感がありました。

受注までの苦労も、とても良い経験として胸に残っています。

■職場環境

当社では働き方改革の推進と、新型コロナウイルスの感染拡大がきっかけとなり、横浜支店にサテライトオフィスが併設されました。

近隣在住の社員のオフィス利用や、プロジェクトミーティング等で活用することなど、新しい働き方を積極的に取り入れており、コロナ禍においても大変働きやすい環境が整っています。

また、社内研修制度も充実しており、過去にこの制度を活用し、模擬面接などのサポートを受け、国家資格である技術士を取得することができました。業務を通して充実して学べる環境も整っていると感じます。

環境問題や環境ビジネスに興味のある皆さんと、この業界で共に切磋琢磨していきたいです。